

スモールコンセッションプラットフォーム

－ ワーキンググループについて －

スモールコンセッションプラットフォーム事務局

国土交通省総合政策局社会資本整備政策課
内閣府民間資金等活用事業推進室(PPP/PFI推進室)

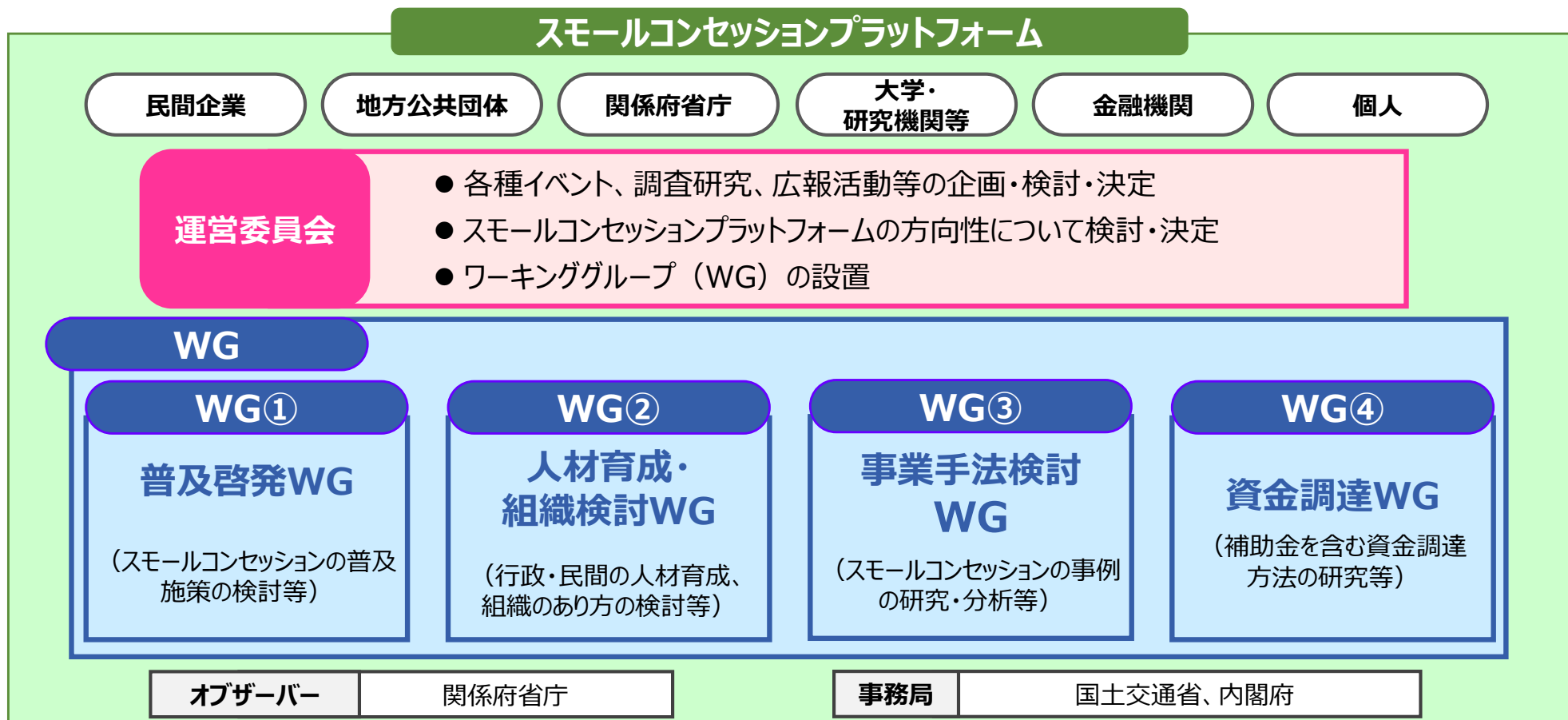
趣旨

運営委員や知識・ノウハウを有する会員がコアメンバーとなり、スモールコンセッションを推進する上での個別のテーマについて、課題の共有や解決策の検討を行う。

目的

スモールコンセッションを推進していく上での課題に対する取組について、各WGにおいて目指すべきゴールについて検討すると共に、ゴールに向けた具体的な取組について、一般会員の意見も広く取り入れながら検討・整理・検証等を行う。

位置づけ



普及啓発WGでは、スモールコンセッションの意義や取組を広く社会に普及していくことで、スモールコンセッションが一般化することを目的とし、効果的な情報整理や発信方法、ターゲット等について、議論を行う。

コアメンバー 【普及啓発WG】

- 東北芸術工科大学デザイン工学部建築・デザイン学科 教授/オープン・エー 代表取締役 馬場 正尊（リーダー）
- 株式会社アタシ社 代表取締役 上野 加代子（サブリーダー）
- 有理舎/公共R不動産 シニアディレクター 林 有理
- 日本商工会議所 地域振興部長 宮澤 伸
- 滋賀大学経済学部 教授/産学公連携推進機構社会連携センター センター長 横山 幸司

検討テーマ

1 スモールコンセッションの目的や意義の普及とムーブメントの創出

- ・ 遊休公的施設をそのままにしておくことによる影響や、スモールコンセッションの**効果等**を整理する。
- ・ 加えて、各主体の**問題意識**や**重点**において**発信すべき主体の分析・検討**等を行うことで、スモールコンセッション導入の機運の醸成を図る。

2 対象となる施設やエリア等のマーケットの現状把握

- ・ 活用可能な施設か判断するための指標として、対象となる遊休公的施設が**マーケットの観点**から**ポテンシャルがあるか**判断するために**必要な情報を整理**する。

3 情報公開と民間提案などを通じた行政・民間の相互理解・情報共有の促進

- ・ 民間事業者にとって、**入手・活用しやすい遊休不動産の情報公開のあり方**を整理する。
- ・ また、官民間の情報共有を促進するために**民間提案制度におけるインセンティブの導入可能性を模索**し、民間提案を活発化させる。

人材育成・組織検討WGでは、官民連携の必要性を理解し、スモールコンセッションを円滑に取り組める人材育成・組織の在り方について検討することを目的とし、トップを含む組織の意識改革の促進策や人材育成手法について議論を行う。

コアメンバー 【人材育成・組織検討WG】

- 有理会/公共R不動産 シニアディレクター 林 有理（リーダー）
- 株式会社コーミン 代表取締役 入江 智子
- 東洋大学 国際PPP研究所 リサーチパートナー 鎌田 千市
- 合同会社コトプレイス 代表社員 川口 義洋（サブリーダー）
- 合同会社みちみらい 代表社員 寺沢 弘樹
- 大阪市 港区長 山口 照美

検討テーマ

1 トップや担当者の意識改革の促進

- ・ 組織全体で官民連携やスモールコンセッションの**必要性**と**緊急性**、**効果等**について、**意識変容に効果的な情報および周知方法**について検討する。

2 継続性や分野横断といった総合的見地から見た組織・人材育成のあり方の検討

- ・ 人事異動等の行政における組織体制の特徴も踏まえ、**継続的に事業を推進できる組織体制作りや人材育成の方法**を検討する。
- ・ 複数の部署を**横断的に取りまとめる組織組成**や、様々な立場の意見を理解し、**分野横断で事業を推進できる人材育成方法**を検討する。

3 事業を着実に進めるための適切な事業パートナーの選定方法の検討

- ・ 行政と事業者が一体となって事業に取り組む体制を整えるための、**事業者の選定方法**や**効果的なサウンディング等**について検討する。

事業手法検討WGでは、スモールコンセッションの案件形成を促進することを目的とし、事例分析を通じて事業の取り組み方や事業手法の決定、事業化までのプロセス等、実践に向けて必要な情報や各種手続きに関して、議論を行う。

コアメンバー 【事業手法検討WG】

- 株式会社 三井住友トラスト基礎研究所 執行役員 PPP・インフラ投資調査部門長 福島 隆則（リーダー）
- Amame Associate Japan株式会社 代表取締役 天米 一志（サブリーダー）
- 合同会社コトプレイス 代表社員 川口 義洋
- 株式会社民間資金等活用事業推進機構 官民連携支援センター長 中嶋 義浩
- 合同会社swan 代表社員 中島 満香
- 東洋大学 国際PPP研究所 シニア・リサーチパートナー 根本 祐二
- 東北芸術工科大学デザイン工学部建築・デザイン学科 教授/オープン・エー 代表取締役 馬場 正尊
- 大阪市 港区長 山口 照美
- 滋賀大学経済学部 教授/産学公連携推進機構社会連携センター センター長 横山 幸司

検討テーマ

1 事業手法の選択とそのプロセスや組織の動かし方、目指すべき目標など、事業の実践に向けて必要な情報の整理・発信

- ・ 組織編成を含め、**事業手法の選択に至った事業検討プロセスの整理**を行い、官民ともに**スモールコンセッションの実施を促すために必要となるポイント**を研究する。
- ・ スモールコンセッションの知見や経験がない方でも取組むことができるよう、**事業構想段階から公募・選定段階までのノウハウや、手続きの円滑化等**をとりまとめた手引きについて、議論する。

2 事業手法、スキームに対応した発注、公募、契約などの各種手続きに関する情報の収集・整理・発信

- ・ **事業手法に対応した発注、公募、契約等のあり方**を整理し、官民双方がスモールコンセッションへの第一歩を踏み出しやすくなるための情報を収集・整理・発信する。

資金調達WGでは、スモールコンセッションにおいて持続可能な事業を形成することを目的とし、金融機関の関わりや新しい資金調達制度の導入にあたっての課題の洗い出しなどを通じて、新たな調達手法の研究を行う。

コアメンバー 【人材育成・組織検討WG】

- 株式会社YMFG ZONEプランニング 代表取締役 藏重 嘉伸（リーダー）
- 株式会社コーミン 代表取締役 入江 智子
- 株式会社民間資金等活用事業推進機構 官民連携支援センター長 中嶋 義浩（サブリーダー）
- 東洋大学 国際PPP研究所 シニア・リサーチパートナー 根本 祐二
- 株式会社 三井住友トラスト基礎研究所 執行役員PPP・インフラ投資調査部門長 福島 隆則
- 株式会社山陰合同銀行地域振興部 地域振興グループ グループ長 前田 大地

検討テーマ

1 金融機関を動かす(その気にさせる)ためのメソッドの検討

- ・ 金融機関におけるリスクの取り方・事業に対する考え方を整理・定型化し、資金調達の促進につなげる。
- ・ また、金融機関を巻き込みやすくなるロジックを整理し、スモールコンセッションへの参画メリットを適切に伝える手法を整理する。

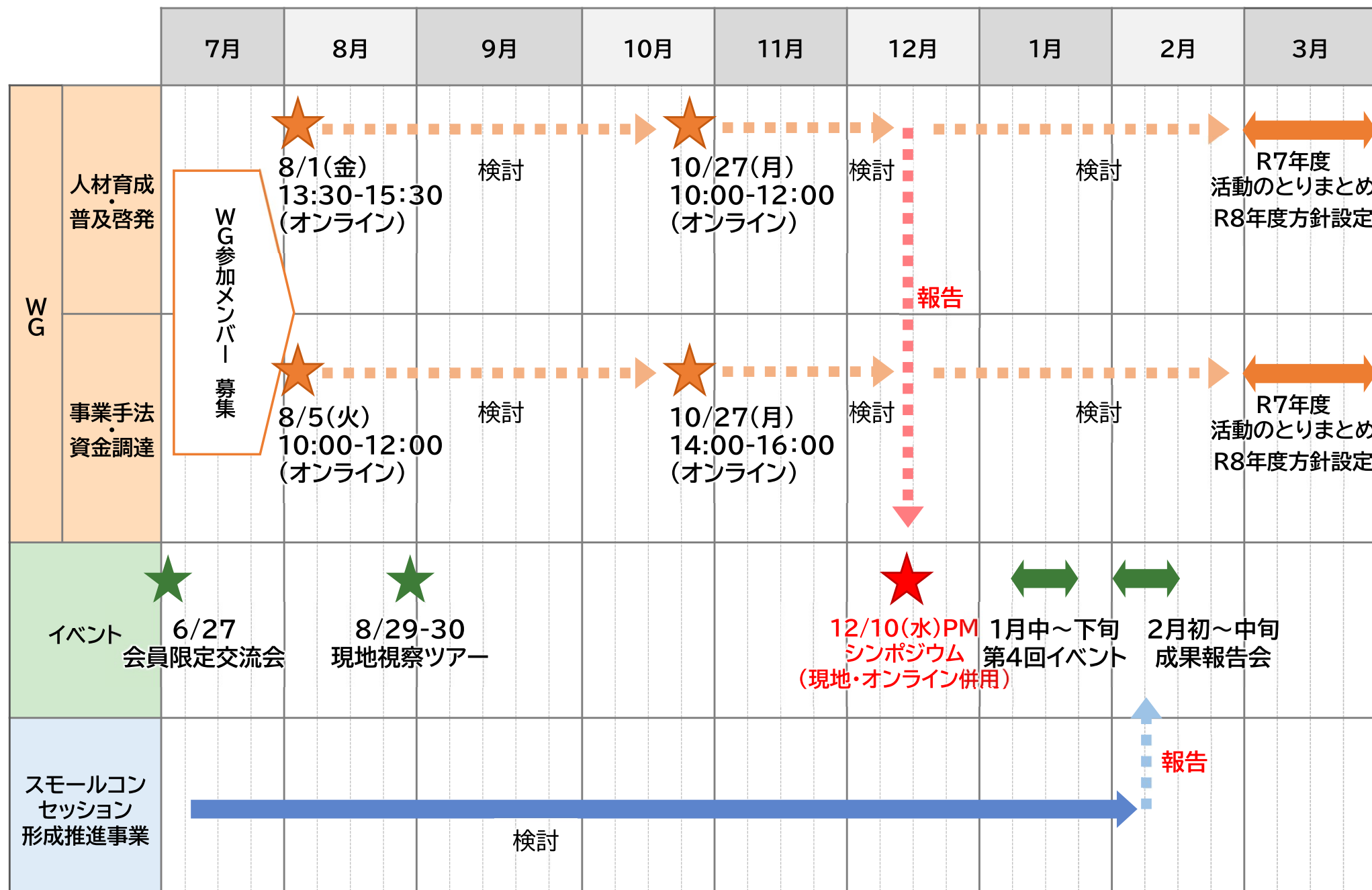
2 資金調達手法の総合的なアドバイザーの育成や相談体制の構築

- ・ 融資、ファンド組成、ふるさと納税、クラウドファンディング等の複数の資金調達手法が想定される中、総合的な相談窓口の設置やアドバイザーの育成手法を検討する。

3 既存の様々な資金調達レビューと新たな調達手法の研究

- ・ 既存の資金調達方法のレビューを行い、事業化に向けた資金調達における障壁を整理し、新しい資金調達制度と導入に向けた課題を研究する。

令和7年度の年間スケジュール



条 件

スモールコンセッションプラットフォーム会員であること

参加方法

- 下記URLもしくはQRコードの申請フォームより、参加申請してください。
- 参加申請につきましては、随時募集しております。
- WGにご参加いただいたとしても、作業をご負担いただくことはございません。
※WG実施時にご意見をいただくことや、アンケート等は実施する可能性がございます。
※基本的には、ご参加されるWGによります。
- 同時に複数のWGにご参加いただくことも可能です。

【申請フォーム】

(URL)

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=8UXaNizdH02vE1q-RrmZIX8V LOIzVVKvnFZxdO i0JUMVZCTFFDOVpUOVBKQIFYS05PVktGOTVNRs4u>

